

『自己改革』実践状況報告

1. 報告の目的

当JAでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、相互扶助の理念に基づき、

- I. 農家所得の向上による大阪農業の振興
- II. 地域貢献を通じた次代の組織基盤とJAファンづくり
- III. 総合事業機能を発揮した健全なJA経営
- IV. 府民理解の醸成に向けた広報活動

を実現するため、様々な『自己改革』に挑戦しています。

『自己改革』は、組合員の願いを実現し、地域の農業とくらしになくてはならない組織となることを目指す改革であり、当該改革における取り組み等を組合員の皆様と共有するため、平成28年度から『自己改革』実践状況について報告しているものです。

2. 報告方針

本『自己改革』実践状況報告については、以下の方針に基づき、作成しています。

- ①『自己改革』実践状況については、その取り組み目的等が明確になるよう「新たに実施した取り組み」「内容を充実して実施した取り組み」「従来から実施している取り組み」と項目に分けて記載しています。
- ②本『自己改革』実践状況報告の取り組みは、平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）および平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）における取り組みを対象としています。
- ③『自己改革』実践状況報告は、平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）においても行うことといたします。

3. 実践状況報告（平成29年度分のみ記載）

新たに実施した取り組み

「自己改革」の実現に向けて、当JAでは以下のような新たな取り組みを行っています。

取り組み事項	実践方策	平成29年度の実践状況
人材育成の強化	人材育成に向けた人事制度の充実と研修機会の確保	経営の健全性を確保するため管理職を中心に資産査定研修会を半期ごとに実施し、合わせて13人が参加しました。ほかに相続手続きの知識向上のための研修会を実施し、また各種資格を外務員・窓口担当者を問わず広く取得させました。
有害鳥獣対策強化	有害鳥獣被害における農業意欲の減退や耕作放棄地の増加等による、環境対策と防除支援	引き続き電気柵の予約購入者に本体の10%を助成し（3件）、通年予約特別価格を設定しました。また管内の被害状況を把握するため全実行組合長にアンケートを実施しました。

新経営体制の確立	改正農協法に対応した経営体制の確立への取り組み	平成30年度の役員改選に向け改正農協法等を踏まえた役員候補者に関する推せん基準を策定し、役員候補者推せん会議を開催しました。
地域に根ざした活動	子ども食堂への支援	1地域増えて6地域の「子ども食堂」に、みしま館出荷者から地元の新鮮野菜を計32回提供しました。
地域消防	消防団活動	引き続き、勤務時間中の消防団活動を認め、地域防災に努めました。
地域防犯	青色防犯パトロール活動	茨木警察署より委嘱を受け、各支店にパトロール車両を配置して巡回パトロールを実施し、地域防犯に努めました。
地域活性化	支店協同活動	4支店を拠点として組合員・関係組織・役職員が一体となりイベントを行い、地域の活性化を図りました。4回の活動で延べ約1,000名の参加をいただき地域の方々の交流の場となりました。
文化・情報活動	女性大学開講	新たに女性大学「ホップカレッジ」を管内在住の女性を対象に10月に開講し、第1期生は21名の申込みがありました。1年間のさまざまなカリキュラムを通して、楽しく新たなことを経験し自身の可能性を広げる場を提供しています。

内容を充実して実施した取り組み

「自己改革」の実現に向けて、当JAでは以下のとおり、従来からの取り組みをより充実または内容を変更し行っております。

取り組み事項	実践方策	平成29年度の実践状況
精米・販売体制の強化	地元産米の集荷とJAブランドの販売	地元産米8,245袋/30kgを集荷し、学校給食会に161トンを提供しました。
営農指導体制の強化	組合員向け農業経営指導と生産指導の強化	新たに6人のアグリアドバイザーを養成し、スーパーアグリアドバイザーと合わせて35人になりました。また、営農指導員携帯用タブレット端末機を指導課、みしま館に計5台導入し営農指導と情報提供に役立てました。
農業所得向上の取り組み	生産資材のコスト削減	引き続き緑肥用レンゲ種子の予約購買を実施し、購入価格の概ね半額を助成し49件の申し込みがありました。また全農と連携し、生産コスト低減肥料として高度化成2品目について大幅に価格低減が図られました。

従来から実施している取り組み

組合員や地域住民の皆さまの願いを実現するため、当JAでは、以下の取り組みを引き続き行ってまいります。

取り組み事項	実践方策	平成 29 年度の実践状況
次世代を担う青少年の健全育成	JA茨木市・旗争奪軟式少年野球大会の開催	引き続き茨木市スポーツ少年団と協力し、110チームが参加する少年軟式野球大会を後援しました
地域の子もたちと絆を深める活動	子どもたちに地域農業を知ってもらうため、出張授業や地元野菜を使った料理教室を開催	引き続き希望する小学校2校へ出張授業を行いました。またフレッシュミズ主催による「夏休み子ども料理教室」開催の支援をし、23名が参加しました。
地域美化への貢献	店舗周辺クリーン作戦・花いっぱい運動の実施	引き続き職員自らが営業前に自店周辺の清掃を行うクリーン作戦を84回実施し、花いっぱい運動を展開しました。
組合員との徹底した話し合い	関係組織との定期的会合の開催	引き続き当JA役付役員と関係組織代表者との会合を、延べ9回にわたり開催し組合員からの要望としてJA活動に反映するよう努めました。
営農指導体制の強化	営農講習会、営農塾等の充実と担い手の支援	引き続き各地区のほか出荷者や職員を対象とした営農講習会を25回実施し、また定年帰農者等に対して営農塾を継続的に開催し生産技術の向上を支援しました。
食農教育応援授業の推進	農作業に対する理解の拡大	引き続き教育委員会を通じて、市内小学校・幼稚園、延べ64校にサツマイモ苗3,700本、ジャガイモの種芋95kgおよび資材を無償提供し、子どもたちが定植から収穫までを体験することにより農業に対する関心を深め、農業への理解に努めました。このほか5校の学習田を助成したほか、11校へバケツ苗1,092セット提供しました。